

小泉重田家の玉村町の医家

医家の暮らしを知る

玉村町小泉の重田家は、江戸時代の中頃から代々医師を家業としていました。初代当主は、姫路城主のお抱え医を務めていたと言われています。当家の家伝業は大変良く効くと言われ、地域の人々の間では「小泉重田の門をくぐるだけで病気が治る」と言われた程でした。また、家伝業の効能から「子ども医者」、「小児科は小泉の重田」として「群馬の医師の三家」の一つと称せられました。

広い屋敷内には、主屋・穀蔵・西の蔵・東の蔵・外便所・井戸屋形・表門及び塀等があり、この7棟が国の登録有形文化財に登録されています。主屋は住まい兼医院として造られ、桁行き8間、梁間5間の総2階建てと、この地方としてはかなり規模の大きい民家建築です。棟札に明治16年(1883)建築と記されており、建築当初より医院として使用されていました。つくりは農家造りで、多間取り(6間取り)型の農家住宅を基本としたものですが、表側には立派な式台を構え、中に「ゲンカンノマ」を配するなど、当家の格式を示しています。

これら一連の建物や屋敷構えは、貴重な地域の歴史的景観資源であるとともに、明治から昭和にかけてのこの地方の医家の暮らしを知ることが出来る貴重な歴史的建造物です。

本展では、建物の紹介と重田家に伝わる品々を展示することで、受け継がれてきた歴史の一端を広く知っていただきたいと考えます。



丸薬を銀箔で包むための箱

薬学書 本草綱目

家屋新築費用簿(明治15年)

丸薬の薬袋

製丸機

聴診器(片耳用)

小泉重田家の家伝業を歌った土屋文明の色紙

関連行事

小泉重田家 一般開放・解説会

場 所：小泉重田家(群馬県佐波郡玉村町小泉42)
 講 師：村田 敬一氏(玉村町文化財調査委員会委員長)
 日 時：11月9日(日) [一般開放] 午前10時～午後4時
 [解説会] 午前10時30分・午後1時30分
 参加費：無料
 ※事前の申し込みは不要です。当日直接現地にお越しください。
 ※駐車場はありませんので、車でお越しの際は
 東部スポーツ広場駐車場(玉村町小泉64-2)をご利用ください。



小泉重田家住宅(表門及び塀)

玉村町歴史資料館

〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町福島 325 番地 玉村町文化センター内
 TEL. 0270-30-6180 FAX. 0270-30-6183 E-mail rekishi@town.tamamura.lg.jp
 URL http://www.town.tamamura.lg.jp/rekishi_bunka/rekishi_shiryokan/

- 最寄駅は新町、車で10分
- JR各駅(本庄・高崎・前橋・藤岡・伊勢崎)より車で30分
- 関越自動車道、高崎玉村スマートICより5分、高崎IC・上信越自動車道、藤岡ICより20分
- 北関東自動車道、前橋南ICより10分
- JR新町駅から永井バス前橋駅行・玉村町役場行「玉村町役場」下車徒歩10分
- JR高崎駅から群馬中央バス伊勢崎駅行「玉村町役場南」下車徒歩10分



マスコットガール オたまちゃん マスコットボーイ たつながさま

